

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.186 2013.4.27



記念撮影コーナー



自治と自由と 真理の探究
未来への憧憬と焦燥
悩める若人の青春群像の舞台です

リニューアルオープン

旧制高等学校記念館

松本市立博物館分館

平成25年 4月27日(土)

このたび20年ぶりにリニューアル・オープンする旧制高等学校記念館は、重要文化財旧開智学校校舎とともに全国に誇る、学都にふさわしい教育博物館です。
—学都松本へ。松本まるごと博物館はその実現に向けて多彩な事業を展開します。今年度もよろしく願います。

松本市立博物館

旧制高校の世界へ
ようこそ



松本市民無料 4月27日(土) ▶ 5月1日(水)

もくじ	誌上博物館 ◇ 旧制高等学校記念館 リニューアルオープン.....	2
	博物館TOPICS ◇ 松本まるごと博物館「工芸の五月」参加企画展を開催します ..	3
	◇ ひとの動き	4
	ガイドコーナーはんてんぼく	4

旧制高等学校記念館 リニューアルオープン

平成5年の開館以来、20年にわたって多くの皆さんに親しまれてきた旧制高等学校記念館。常設展示などの改修工事を終えて、4月27日(土)にリニューアルオープンいたします。今回は展示のみどころをご案内しましょう。

1 展示内容

2階展示室 ～初めて旧制高校と出会う～

◆全国の旧制高等学校ゾーン

旧制高校って何？今の高校とどう違うの？そんな疑問に答えられるよう、旧制高校の歴史や学生生活を、わかりやすく紹介しています。

◆松本高等学校ゾーン

松本の町とのかかわりを中心に、“松高”31年間の歴史を振り返ります。

3階展示室 ～旧制高校をより深く知る～

「旧制高校で学んだ著名人80人」、「寮歌200曲ライブラリー」、北杜夫・熊井啓・小塩節の対談などを収めた「映像シアター」ほか、旧制高校ファンにはたまらない内容です。

2 展示のみどころ

旧制高校の世界へ、タイムスリップ！

壁一面の大きな写真と、学生姿などの切り抜き人形で、展示空間をつくりました。展示室に入ると、まるで旧制高校生がかっ歩していた昔にタイムスリップしたかのようです。



2階常設展示室

人形たちが語り出す

あちこちに立つ切り抜き人形が、吹き出しのセリフで展示のポイントを語ってくれます。人形たちとそぞろ歩きを楽しみましょう。

なりきり旧制高校生

旧制高校生のトレードマークは、白線帽・マント・高げた。貸出衣装を身につけて、記念撮影はいかがでしょう。衣装を着たままの見学も楽しいですよ。



2階常設展示室



2階ベランダにて。背景は旧松本高等学校校舎(国重文)

寮歌カラオケで盛り上がりよう！

旧制高等学校の寮歌200曲を収録した「寮歌ライブラリー」は、全国に類を見ないもの。タッチパネルの簡単操作で、「われは湖の子」など有名曲を口ずさんでみましょう。



このページを片手に、どうぞ旧制高等学校記念館へお出かけください。

(旧制高等学校記念館 学芸員／臼井邦彦)

リニューアル記念事業

4月から5月に次のイベントを開催します。新しい展示とともによろしくお願いいたします。

第50回あがた美術会作品展

4月27日(土)～6月16日(日) [観覧料]無料

松高寮歌祭～風薫るあがたの森に、いざ歌へ、いざ舞へや

5月18日(土) 午後1時～4時

[会場]あがたの森文化会館 講堂 [料金]1,000円(要事前申込、5月14日締め切り)

利用案内

[開館時間]午前9時～午後5時(入場は4時30分まで) ※4月27日(土)のみ午前9時30分開館
[休館日]月曜日(祝日の場合は翌日) [観覧料]大人(高校生以上)300円、小中学生無料

松本まるごと博物館「工芸の五月」参加企画展を開催します

「工芸の五月」の季節がやってきました。今年も松本まるごと博物館では、工芸の五月参加企画展を開催します。今回は、松本市立博物館、松本民芸館、はかり資料館と松本市美術館の4館で、半券を提示いただくと2館目以降が団体料金に割引となります。市内各所で行われるさまざまな行事を通して松本の工芸(民芸)をお楽しみください。

企画展

松本市立博物館 Tel.0263-32-0133

柳宗悦 — 松本で会った人、見つけたもの —

4月20日^土～6月9日^日

民芸の父といわれる柳宗悦は、戦前より日本の「手仕事」に着目し、全国各地の品物を記録、後に戦後の民芸運動へと発展させました。彼は昭和21年から10年以上にわたり、夏場の1～2ヶ月間を松本に滞在して、執筆や講演、松本の作り手の指導などをしました。本展では、柳宗悦が松本で注目したみずず細工などの民芸品や、出会った人々を紹介します。



木工指導の折(昭和28年)〔柳宗悦、バーナード・リーチなど〕

マチの鋸屋 ～時代を越えた匠の技～

4月27日^土～6月2日^日



近年、鋸は、差し替え刃や電動鋸が普及していますが、かつては、マチのいたるところで鋸の手入れや修理をする職人が活躍していました。本展覧会では前挽き鋸・台切鋸をはじめとした、用途ごとに異なる多種多様な鋸の姿に加え、今も伝わる手入れや修理をする匠の技を紹介します。

松本民芸館 Tel.0263-33-1569

柳宗悦が育んだ松本の民芸

4月23日^火～7月15日^月

民芸館では、柳宗悦が育んだ松本の作り手たちの

木工品、型絵染、拓本などの作品を展示します。

はかり資料館 Tel.0263-36-1191

中町と民芸

4月27日^土～5月19日^日

はかり資料館では、民芸活動を推し進めた先達、卵殻細工の丸山太郎、型絵染の三代澤本寿、松本民芸家具の池田三四郎、小木工の柳沢静子ら、中町に縁の深い作り手たちの作品を紹介します。

松本市旧司祭館 Tel.0263-32-5725

くらし、いのり

4月27日^土～5月6日^日・25日^土・26日^日 [入場無料]

旧司祭館は、明治22(1889)年にフランス人のクレマン神父によって建てられました。またセスラン神父は、ここで和仏大辞典を編纂しました。県宝にも指定され、現代においても魅力を放つこの建物で、“くらし”をテーマに工芸展示をします。

関連事業

松本市立博物館 Tel.0263-32-0133

バス見学会「工芸を巡る」

5月17日^金 午前10時～午後4時頃

工芸の五月参加企画展を開催している博物館施設を中心に巡るバス見学会です。

[見学先]はかり資料館、旧制高等学校記念館、松本民芸館、旧開智学校、松本市立博物館

[料金]500円 [申込み]5月8日(水)午前9時～

松本民芸館 Tel.0263-33-1569

講演会「瀬戸における民窯の役割」

5月19日^日 午後1時30分～3時

柳宗悦に見出された瀬戸本業窯には民芸の思想が染み付いています。約300年続く窯元の若き陶工が、受け継がれてきた伝統と民窯のこれからを語ります。

[定員]40名(要予約)

[料金]入館料300円、講演会は無料(中学生以下と70歳以上の松本市民無料)

[講師]水野半次郎さん(瀬戸本業窯の8代目後継予定)

松本市歴史の里 Tel.0263-47-4515

講座「みずず細工体験」

5月18日^土 午後1時～3時

すず竹のヒゴを編んで、フォトフレームをつくる体験講座を行います。

[対象]高校生以上

[料金]1,500円(材料費込み)

[定員]10名

[講師]歴史の里「みずず細工の会」

ひとの動き

4月1日付で、次のように職員の転入・転出等がありました。()内は所属。

転入 よろしくお願ひします。

庶務係長 中原 和彦 (奈川支所住民課→博物館)
 事業担当係長 杉山 博章 (今井出張所→旧開智学校)
 主査 大島 浩 (美術館→馬場家住宅)
 主任 中澤佐保子 (学校教育課→山と自然博物館)
 事務員 原野 瑞江 (博物館)
 嘱託 上條 和也 (監査事務局長→考古博物館分館長)
 嘱託 栗木 文子 (菅野小学校→博物館)
 嘱託 長尾小百合 (博物館)
 嘱託 高木美保子 (資産税課→四賀化石館)

課内異動 改めてお願ひします。

主査 小原 稔 (歴史の里→博物館)
 主査 澤柳 秀利 (旧開智学校→考古博物館)
 主事 草間 厚伸 (考古博物館→博物館)
 主事 宮井 博樹 (博物館→歴史の里)
 主事 山下 太一 (山と自然博物館→時計博物館)
 嘱託 柳澤 拓海 (旧制高等学校記念館→博物館)
 嘱託 小林 弘美 (歴史の里→博物館)
 嘱託 小林 宏貴 (博物館→旧制高等学校記念館)
 嘱託 吉田 輝子 (考古博物館→旧開智学校)
 嘱託 北原佳代子 (窪田空穂記念館)

退職・転出 お世話になりました。

課長補佐 (庶務係長)
 田堂 誠 (博物館→地域づくり課)
 事業担当係長 竹内 靖長 (博物館→文化振興課)
 主査 朝倉 尚美 (主査・博物館→係長・市民課)
 主査 門野 博之 (馬場家住宅→高齢福祉課)
 嘱託 市川千鶴子 (博物館→退職)
 嘱託 秋山かおり (博物館→退職)
 嘱託 和田 裕也 (旧開智学校→退職)
 嘱託 保科 利守 (考古博物館→退職)
 嘱託 齊藤 洋子 (旧制高等学校記念館→退職)
 嘱託 山腰絵梨菜 (窪田空穂記念館→退職)
 嘱託 齋藤 由里 (山と自然博物館→四賀就労センター)



ガイドコーナー はんでんぼく

4月30日(火)は臨時開館

5月1日(水)は無料開館(市制記念日)

時計博物館から ☎0263-36-0969

特別展「学校の時計」

会期 5月25日(土)～6月23日(日)
 会場 時計博物館 企画展示室
 観覧料 通常観覧料
 (大人300円、中学生以下150円)

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

春の野外観覧会

日時 5月26日(日)
 午前9時30分～11時30分
 会場 アルプス公園(山と自然博物館集合)
 定員 15名
 参加料 大人300円、中学生以下100円
 申込み 5月14日(火)から受付

考古博物館から ☎0263-86-4710

ミニパネル展

「わが地区の逸品 ～寿地区の遺跡～」

会期 4月27日(土)～6月30日(日)
 会場 松本市立考古博物館2階第2展示室
 観覧料 通常観覧料
 (大人200円、中学生以下無料)

歴史の里から ☎0263-47-4515

たかばた

高機で裂き織り体験

日時 5月23日(木)、6月22日(土)
 午前10時～正午、午後1時～3時
 定員 各日12名
 参加料 1,000円

草木染め体験

日時 5月29日(水)、6月26日(水)
 午後1時～4時
 定員 10名
 参加料 3,500円(2日間)
 申込み いずれも電話で歴史の里まで

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

特別展示「空穂と島秋人」「島秋人の絵画」

会期 4月20日(土)～6月2日(日)
 観覧料 通常観覧料
 (大人300円、中学生以下無料)

空穂茶会

日時 5月19日(日)午前10時～午後3時
 会場 空穂生家
 参加料 1,500円(濃茶、薄茶の二席)
 申込み 電話で窪田空穂記念館まで

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

企画展「松本押絵雛による五月人形展」

会期 4月27日(土)～6月9日(日)
 会場 馬場家住宅主屋
 観覧料 通常観覧料
 (大人300円、中学生以下無料)

お茶席の会

日時 5月26日(日)午前10時～正午
 松風の会(表千家)
 6月16日(日)午前10時～正午
 おしゃれ茶道の会(裏千家)
 会場 馬場家住宅主屋
 参加料 通常観覧料
 (大人300円、中学生以下無料)
 申込み 不要

はた織り体験教室

日時 6月22日(土)
 午前10時～正午、午後1時～3時
 会場 馬場家住宅門長屋
 定員 各5名
 参加料 各講座1,000円
 申込み 6月5日(水)から受付

あとがき

見晴らしの良い山の上から一変、街の真ん中に職場が変わりました。鳥の鳴き声が聞けなくなったかわりに、無機質な時計の音が響きます。近くに川が流れており、少しは自然を感じることができそうです。新しい職場は地域との付き合いが大切とのこと。人と接するのは好きなので、仲良くやっていきたいと思います。(T.Y)

あなたと博物館 No.186

発行/平成25年4月27日 編集・発行/松本市立博物館

〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133 URL:<http://www.matsu-haku.com>e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp

印刷 川越印刷株式会社